

人類のはじまり (藤井麻緒)

かつて現在のエチオピアで生活していた猿人アウストラロピテクス・アファレンシスは今から約 320 万年前に生きていました。特に 1970 年代に発見された女性の骨格化石は多くの部分が残されており、発見した調査隊によってビートルズの楽曲にちなんで、「ルーシー」という愛称がつけられています(※1)。そしてこのルーシーが人類の祖先であると言われています。

やがて人類の生活範囲はルーシーの発見されたアフリカ大陸からユーラシア大陸などへも拡大しており、必然的に海洋へも進出していたことがわかっています。人類は生活の場を広げ、やがて高度な文明を築き上げました。

しかしながら文明の発展に伴い、結果的に人類は恩恵を受けてきた自然を破壊してきました。自然が失われるにつれ、環境は少なからず変化し、当たり前に出るものが得られなくなりつつあります。

一人一人が今一度行動を振り返り、自然への接し方を見直すことで、再び自然とのより良い関係を再び得ることが出来るようになるのです。

参考

※1 国立科学博物館 HP

[ルーシーとは？](#)

